

GPA 制度の導入について

2019年度からGPA制度を導入する。

GPA (Grade Point Average) とは、学生の成績評価方法の一つであり、履修科目の成績の1単位あたりの成績平均を数値で表すものである。

学生へのGPAの通知は、成績表に記載することにより周知する。GPAの結果を学生自らが確認し、自分の履修計画の点検材料として積極的に活用するものとする。

なお、本校としてはGPAを成績順位等の資料として活用し、最優秀賞などの選考等に用いる。また、GPAが低い(=成績評価が低い)学生に対して、今後の履修計画等に関する修学指導の材料とする。

成績評価については、「秀、優、良、可、不可(不受験を含む)」の5段階で評価し(「秀」の評価適用は今年度は新1年生から年次進行で適用する)、可以上で合格とする。また、GP (Grade Point) としては、「秀は4.0、優は3.0、良は2.0、可は1.0、不可は0.0」とする。

区分	成績記録	GP
合格	秀	4
	優	3
	良	2
	可	1
不合格	不可	0

GPA 制度の概要及び種類等について

1. GPA 制度

GPA (Grade Point Average) とは、履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出する方法であり、GPに該当科目の単位数を乗じて合計し、総単位数で除して履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出する。計算結果は小数点以下第3位を切り捨てて表記する。

2. GPA は年度ごとに算出したもの(年度GPA)、入学時から現在の学期まで通算したもの(累積GPA)があり、その計算方法は次のとおり。

①年度GPA

当該年度に履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を当該年度の履修総単位数で除して算出する。

②累積GPA

入学時から現在の学期までに履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を入学時からの履修総単位数で除して算出する。